



【取組内容】

- コロナ禍で困窮した学生への米の寄贈や農作業アルバイトの紹介、地域の子どもや高齢者への手作りマスクの寄贈等を実施。また、従来男性が多い職場において、女性の積極的な採用に取り組む。
- 東日本大震災や台風被害からの生産回復に尽力した結果、日本一の夏秋キュウリ産地となるなど、農業復興を果たすとともに、買い支え運動「ふくしま応援隊」を通し、風評被害対策への理解を得た。地域の企業と農産物の加工や観光で連携を強め、業績回復や不安の払拭に併走。
- 国際家族農業年、SDGs等を踏まえ、食・農・環境に関わる地域及び地球規模の課題に対し、原子力災害を経験したJAとしての関わりについて検討を重ね、経営理念や事業・活動に反映。

SDGs実施指針における実施原則（本アワード評価基準）

| | |
|-----------|--|
| 普遍性： | 企業との連携、直売所の活用等で農家の所得向上を支える取組は、国内外の農業振興モデルになる。 |
| 包摂性： | コロナ禍での学生支援、地域見守り活動、障害者採用等を実施。女性職員の育休取得率及び復帰率は100%。 |
| 参画型： | 生産力の高い担い手や法人から自給的農家まで多様な生産者の参画のもと、多様性に対応した支援や販路の提供を実施。 |
| 統合性： | 農業生産を基盤とした地域社会への貢献を念頭に、経済・社会・環境のバランスに配慮した事業展開を重視。 |
| 透明性と説明責任： | 組合員組織や店舗・施設、地域住民等の声を運営や事業に反映。広報誌での報告、公式HP等による一般広報にも注力。 |

